

子どももの立場になって

10/21 わかやま新報

県立高校 の校長会 防災訓練考える

和歌山大学防災研ととして、校区の危の確認、登下校中の「全てマニュアル化
究教育センター客員 險箇所や安全な場所 避難訓練などを挙げることが大切。た

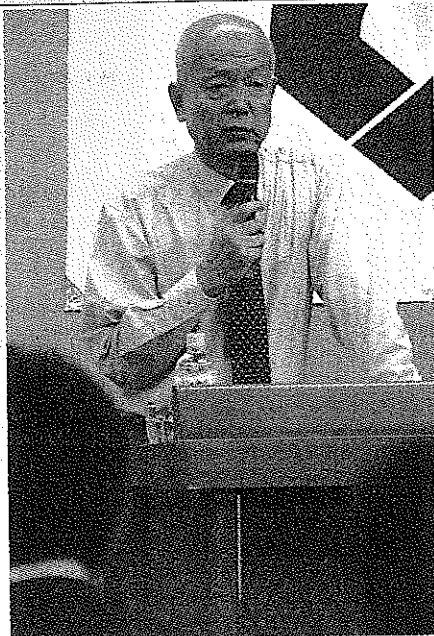
教授の今西武さん
が、県日赤会館（和
歌山市吹上）で、「待
ったなし防災ノ」
学校における防災訓
練の在り方について
」をテーマに講演
し、県立学校の校長
47人が聴き入った。

本年度の第3回県

立学校長会の一環。

今西さんは、学校の

防災対策で重要なこ



防災教育について話す今西さん

だ、マニュアルは頭
の中にたたき込ん
で、万が一の時に確
認するだけのものと
心得て」と話した。

また、「学校は講座
など座学が好きな印
象を受ける」と指摘
し、「防災教育は」
座学と、実践する防
災訓練や活動のバラ
ンスをよくすること
が大切」とアドバイ
ス。

住民参加型の防災
活動など、自身が携
わった取り組みを紹
介し、「子どもの立場
になって、どうした
ら防災に興味や関心
を持つのか考えて」
と呼び掛けた。